

平成29年6月 定例県議会

自民党香川県政会
代表質問から抜粋

6月定例議会は7月12日、22日間の会期を終えました。3千万円の2017年度一般会計補正予算案（補正後4613億2900万円）など当初提案の10議案及び追加提案の人事案件、議員発議の意見書案、決議案など7議案を原案通り可決しました。本年度も我が会派は、主導権をもって県政運営を進めます。

●新県立体育館の完成は平成35年度になり計画の段階で十分な検討が必要。

新県立体育館の整備

問：これからのアリーナは、集客施設として地域のシンボルとなるようなものを目指すべきであり、サンポート高松の立地を生かし、新県立体育館を魅力ある施設とするならば、大規模イベントを誘致し、地域の活性化に繋げ

ることが出来ると考えます。

答：（教育長）当体育館は、全国・国際大会など大規模スポーツ大会開催能力を有する「競技スポーツ施設」、県民誰もが多様なスポーツ・レクリエーションに親しめる「生涯スポーツ施設」、交流人口の拡大やにぎわいづく

りにつながる「交流推進施設」としての機能を備えたいと考えています。サンポート高松の立地を生かし、利用しやすい魅力ある施設として整備し、人々の交流を増やし、地域の活性化につなげたい。

基本計画に当たり、専門家からも意見を聞く「アドバイザーグループ」を設置、さらに各施設の規模・機能を決定するに当たり、コンサートやプロスポーツ等に関する需要予測も行いたいと考えています。



●人口減少の流れに歯止めがかからない。平成29年4月1日現在県人口96万人台。

人口減少の克服と 地域活力の向上

問：県では、「かがわ創生総合戦略」に基づき、人口減少の克服と地域活力の向上を実現するため、戦略的に人口減少対策等の各種施策に取り組むことになっているが、その取り組みは緒についたばかりです。今後どのような施策を展開し、取り組んでいくのか。

答：（知事）人口減少対策を県政の最優先課題であると認識し、「新・せとうち田園都市創造計画」と「かがわ創生総合戦略」を策定し、戦略的に減少対策を講じております。具体的には、「人口減少



抑制戦略」として本県地域資源を生かした重点的プロジェクトの推進、魅力ある大学づくりへの支援、「ワークサポーター」活用などで、若者の県内定住・就職を推進しています。また、大阪での移住コーディネート新設、「かがわ縁結び支援センター」の機能充実などにより支援に取り組んでいます。